2022年度活動概要　　日英インタラクション研究会

日英インタラクション研究会は、以下の 2 点を目標に研究活動を行っています。ひとつは、日本語と英語のインタラクションの方法や、その背後にある文化的価値観や対人関係のあり方を明らかにすること。もうひとつは、そこに見られたインタラクション方法の違いを、英語教育の中でどのように扱い指導するべきかを検討することです。

2022 年度は以下の通り 4 回の研究会を行いました。いずれの会も、研究会会員とそれ以外の JACET メンバーの 10 数名が参加しました。

・5 月 29 日 10:00-12:00（Zoom）　柴田美紀(広島大学)　研究発表「グローバル時代の高等教育国際化と EMI:教育で何が起こっているのか」

・8 月 22 日 20：00－22：00（Zoom）　稲垣亜希子（東京都市大学）　研究発表「留学環境下における語用論的能力の発達と語用論的動機づけとの相関について」

・10 月 2 日 10:30－12:30(Zoom)　大谷麻美(京都女子大学)　読書会　Troy McConachy 著 *Developing Intercultural Perspectives on Language Use*（2018）

・2 月 5 日 10：30－12：30(Zoom)　永山友子（神奈川大学）研究発表「「そうですね」：話者の複合的なポジショニングを可能にする日本語の短い発話」

また、11 月の中部支部 2022 年度第 1 回定例研究会では、会を代表し大塚容子と大谷麻美が「NS-NNS 間の英語会話で何が起こっているのか：インタラクションの観点からの分析」を発表しました。

来年度は、個別の発表だけではなく、研究会としてまとまった成果の発表ができればと考えています。